

公益財団法人8020推進財団

令和5年度 歯科保健活動助成事業報告書 [抄録]

1. 事業名：やってみよう！おうちでブクブクむし歯予防！！フッ化物洗口体験事業
2. 申請者名： 一般社団法人金沢市歯科医師会 代表者氏名 会長 伊藤基夫 担当者氏名 理事 南條麗子
3. 実施組織： 一般社団法人金沢市歯科医師会
4. 事業の概要： 集团的フッ化物洗口の普及が遅れている金沢市において、市民のフッ化物洗口の認知を高め体験することにより、集团的フッ化物洗口の導入促進を図ることを目的とする。また、市民のう蝕予防、口腔の健康意識の向上、定期的歯科受診の促進も期待される。歯科医師の知識向上、歯科医院でのフッ化物洗口導入の促進も見込まれる。
5. 事業の内容： 1. チラシ作成：市民に向け本事業を周知するためのチラシを作成した。チラシは金沢市歯科医師会会員の診療所に配布した。オープンイベントである石川県歯科医師会主催「いい歯の日健口フェア」においてチラシの配布および事業の周知を図った。 2. 歯科医院へのフッ化物洗口セット配布、および歯科医師からの処方：金沢市歯科医師会会員のうち本事業に参加する者の診療所に、希望数のフッ化物洗口セットを歯科材料商を通じて配布した。医院においては配布されたフッ化物洗口セットを、洗口を希望する市民に十分な指導を行ったうえで無償にて処方した。処方期間は10月2日より12月28日までとした。処方に際して市民は処方記録に氏名、住所等を記入した。会員は事業実施期間中もしくは終了後に取りまとめて、金沢市歯科医師会事務局に提出した。 3. アンケート：処方記録をもとに、処方を受けた市民を対象にアンケートおよび返信用封筒を送付した。市民は、郵送もしくは金沢市歯科医師会のホームページ上に設けられたアンケートフォームを通じて、アンケートに答えた。 4. フッ化物洗口導入に対しての助成：事業終了後にフッ化物洗口導入を希望する歯科医院には、フッ化物洗口マニュアルやQ&A集、処方記録等を配布した。 5. フッ化物洗口剤取扱医院リストの作成：フッ化物洗口剤を取り扱う診療所のリストを作成し、金沢市歯科医師会HPに掲載した。
6. 実施後の評価（今後の課題）：フッ化物洗口を行った感想として94%の人が「簡単だった」、99%が「行いたい」としたものの、40%が「行いたいが続かないと思う」とした。洗口剤は1か月分処方したが、「家族全員が続けられた」のはわずか17%であり、「家族全員が続けられなかった」のは26%であった。小中学校での実施については「よいと思う」が96%で「よくないと思う」は0.4%であった。自由記述では好意的な意見がほとんどであり、施設での実施を望む声が多かった。このアンケートを、行政や施設に対するフッ化物洗口導入の際の資料として役立てたい。 本事業の目的は、フッ化物洗口の周知と集团的フッ化物洗口へのステップであり、家庭での継続的实施は期待していなかったが、やはり困難であることが示された。これを機に、新たにフッ化物洗口剤の取扱いを開始した診療所もあり、歯科医師におけるフッ化物洗口の理解も深まったものと思われる。しかし、まだ取り扱う診療所は56医院と全体の27%に過ぎないため、取扱っている診療所を「フッ化物洗口剤取扱医院リスト」として金沢市歯科医師会ホームページに掲載し、洗口継続を希望する市民の利便を図った。